

令和6年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（44） 学校名 豊田市立市木小学校

1 テーマ

地域ぐるみの教育を目指した学校づくり

～地域の良さに気づき、地域とともに伸びゆく児童の育成を目指して～

2 ねらい

地域学校共働本部と連携をし、これまで実施してきた学校ボランティア活動の意義を保護者や地域の方々に伝え、多くの方に参加していただけるようにしていく。児童と直接関わり合う場をさらに充実させ、児童の「豊かな心」の育成を図っていく中で、地域ぐるみの教育を推進していきたい。

また、校内整備員を配置することで、計画的に校内の環境整備を行い、児童にとって安全な環境を整えていく。

3 活動内容

（1）学校ボランティアの活動

- ・保護者や祖父母、地域から学校ボランティアを募り、学校づくりに参画していただいた。本年度は、花・畑・書道・家庭科・学習支援・図書・登下校見守り・図書室掲示の8つのボランティアを組織し、活動した。
- ・書道（3・4年生）の授業の支援を年間通して行っていただいた。また、学習支援では、生活科の活動の補助をしていただいた。
- ・PTAの一斉奉仕活動の代わりとして、草取り・草刈りボランティアを募集した。スポーツフェスティバルの際は、児童と一緒に運動場の整備を行う活動も実施した。
- ・学生ボランティアが保健室及び支援が必要な児童のいる学級で活動した。

（2）祖父母の会の活動

- ・声かけボランティアとして、児童の登下校の見守りを行った。

（3）地域講師等による様々な教育活動の支援や補助

- ・3年生の総合的な学習の時間に花ボランティアさんを講師にお招きし、花の挿し芽のやり方について教えていただく機会を設けた。児童が育てた苗は、スポーツフェスティバルの際に保護者や地域の方に配付した。
- ・読み聞かせボランティア「ひだまり」による読み聞かせを年間を通して行った。
- ・1年生生活科の昔遊びの学習では、地域学校共働本部を通じて老人クラブを中心とした地域の方々に講師を依頼した。22名の講師の方が参加してくださり、児

童と共に活動した。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・ボランティア活動を通して延べ600名以上の方が教育活動に関わってくださいました。
- ・昨年に引き続き、ボランティアの方が活動をしているときに、児童から声をかけて交流する様子が見られるようになった。
- ・家庭科や書道ボランティア等は、教師だけで指導するよりも児童の技能が高まり学習が楽しいと感じる児童が増えた。
- ・ボランティア活動をした方からは「子どもたちから元気をもらった」「子どもと触れあい楽しかった」という声が聞かれた。
- ・保護者アンケートでは「特色のある教育活動を行っているか」について78%（昨年度81%）、「保護者と連携を図り、開かれた学校づくりを進めているか」について85%（昨年度83.3%）が「とてもよい」「よい」と答えている。開かれた学校づくりについては、昨年度に比べとてもよい結果が出ており、事業の効果を認識している。

(2) 課題

- ・仕事をしてみえる保護者が多く、平日のボランティア活動への参加が難しく、新規の登録は減少傾向にある。

(3) 「特色ある学校づくり推進事業」に補助員を配置したことによる成果

【校内整備員について】

- ・校内整備員によって計画的に屋外の環境整備を進めることができ、安全な環境を保つことができた。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・ホームページを活動時に更新し、各ボランティアの取組を紹介した（34回）。
- ・学校だよりで、各ボランティアの取組を紹介した（10回）。
- ・学校メールでボランティアの活動内容や案内を配信するとともに参加を呼びかけた（24回）。
- ・地域の諸会議の要項にボランティアの活動の様子を掲載し紹介した（4回）。
- ・昇降口の掲示板にボランティアが活動している写真を掲示したり、児童からの感謝のメッセージを廊下に掲示したりした。